



たちかわ市民交流大学

たちかわ☆きらきらカード対象講座

国立極地研究所・立川市教育委員会・たちかわ市民交流大学市民推進委員会

協働企画公開講座 極域科学シリーズ第20回

# 極地研サイエンスカフェ

## ～コロナ禍の南極観測 その意義と国際協力～

### 【コロナ禍における南極観測隊の派遣についてご紹介します】

2021年12月4日（土）午前10時～11時30分

講師 橋田 元さん（国立極地研究所 南極観測センター 教授）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に拡大する中で、移動中や基地での感染を防ぐため、昨年11月に出発した第62次観測隊は、隊員数を大幅に減らし、途中でどこにも寄港せず、日本と昭和基地を往復するという過去に例がない行動となりました。

その経験を踏まえて、日本をはじめ各国の南極探検隊は、いかにして観測隊を送り込み、感染が広がる前に南極に赴いていた越冬隊を帰国させたのか？ どの国も越冬観測を断念しなかった理由は？ などについて、本講座で紹介します。



[写真提供 国立極地研究所]

- ・定員：30名（申込順）
- ・受講料：無料
- ・保育：若干名（1歳～学齢前）
- ・会場：立川市 女性総合センター・アイム（第3学習室）
- ・申込：生涯学習推進センター（☎042-528-6872）まで [10月25日（月）～]



### 【会場案内】

- (1) JR立川駅北口より徒歩7分
  - (2) 多摩都市モノレール立川北駅より徒歩6分
- \*受講者専用の駐車場・駐輪場はありません。